

※県政記者クラブ加入各社のうち、静岡市内の支局に FAX 送信しています [送信 1 枚]

提供日 2019/6/5

タイトル オンライン教育 (COIL) によるカルフォルニアデービス校との連携強化

担当 静岡県公立大学法人 静岡県立大学

大学院食品栄養環境科学研究所 中村順行、小林裕和



静岡県立大学記者提供資料

全学共通科目“Japanology”で日本茶のオンライン教育 (COIL) を米国と実施

静岡県立大学では 2018 年度から、上智大学及びお茶の水女子大学と共同で、オンライン教育 (Collaborative Online International Learning: COIL) を利用した遠隔教育及び交流事業を軸とした、日米 2 国間の大学間連携を図るプロジェクトに取り組んでいます (平成 30 年度文部科学省「大学の世界展開力強化事業～COIL 型教育を活用した米国等の大学間交流形成支援～」)。

このたび、下記のとおり、全学共通科目「Japanology : Science and Society」のなかで、カルフォルニア大学デービス校と接続し、両校の学生が日本茶について同時に受講する COIL 型教育を実施します。

報道機関の皆さまにおかれましては、当日の取材をお願いします。

記

1. 日時 2019 年 6 月 13 日 (木) 午前 9 時 00 分から 10 時 30 分まで
2. 会場 静岡県立大学草薙キャンパス 国際関係学部棟 1 階 3106 講義室
3. 講義名 全学共通科目「Japanology : Science and Society」
※Japanology は英語で日本の文化や歴史、経済、薬草、日本茶などについて、7 回にわたり幅広く行う授業
4. 当日の講義内容等
 - (1) テーマ 「日本茶とは？」
 - (2) 講師 ブレゲル・オスカル氏 (スウェーデン生まれの日本茶インストラクター)
 - (3) 講義内容 日本茶の栽培や加工方法に始まり、品種や微妙な香味を活かすためのおいしい淹れ方の実演などを介し、日本茶の素晴らしさ、幅広さを体感する。
デービス校においても、米国在住の日本茶インストラクターであり日本茶大使である和気礼子氏に日本で使用するものと同じお茶を使って実演していただき、日米双方で共有する内容となる。味覚の評価における国民性の違いを浮き彫りにしたい。
 - (4) 参加者 日米それぞれの受講生は 20 名程度を予定
5. その他

カルフォルニア大学デービス校と本学は 2011 年に大学間交流協定を締結していますが、デービス校内に一昨年グローバル・ティー・イニシアティブ (GTI) が作られ、日本茶との連携を強化しようとしています。そこで、本学としても茶に関する機能性などを発信し、国際的認知度の向上はもとより静岡茶の輸出促進につなげたいと考えています。

そのため、今後はオンライン教育や、カルフォルニア大学デービス校 GTI が主催する学術シンポなどへの参画や学術交流も深化させ、連携を強化する予定です。

【本件に関するお問い合わせ先】

〒422-8526 静岡市駿河区谷田52-1

大学院食品栄養環境科学研究所 小林裕和

電話 054-264-5582

メールアドレス hirokoba(ここへ@を入れる)u-shizuoka-ken. ac. jp